



2016年5月12日

東京大学  
MSD株式会社

## 東京大学とMerck & Co., Inc., Kenilworth N.J., U.S.A.

### 創薬共同研究における戦略的パートナーシップ契約を締結

－ 革新的な新薬創出に向けたグローバルオープンイノベーションを推進 －

東京大学(所在地:東京都文京区本郷、総長:五神 真)と Merck & Co., Inc., Kenilworth N.J., U.S.A. (本社:米国ニュージャージー州ケニルワース、会長兼最高経営責任者:ケネス・C・フレイジャー、米国とカナダ以外ではMSD、以下「MSD」)は、創薬共同研究における戦略的パートナーシップ契約を締結しました。

本契約により、MSDは東京大学トランスレーショナル・リサーチ・イニシアティブ(注1、以下「TR機構」)をとおして東京大学が有する学術研究成果にアクセスすることが可能になり、効率的かつ迅速に医薬品開発に向けた応用研究を進めることが可能になります。東京大学は、医学領域を始めとしてさまざまな分野で革新的な新薬開発に結び付く最先端の研究を行っており、その成果をMSDの創薬プラットフォームおよびグローバルネットワークと組み合わせることで、グローバルオープンイノベーションを実践し、革新的新薬の創出を目指します。

本契約締結により、以下のことが期待されます。

- TR機構が保有する「Research Mapping System」(注2)にMSDがアクセスすることにより、創薬シーズの応用展開を促進する。
- 東京大学とMSD間で新規プロジェクト発掘に関する協議体を持つことによりグローバルオープンイノベーションを推進し、革新的な新薬を創出する。

TR 機構長の齊藤延人 医学部附属病院長は、次のように述べています。

「東京大学は TR 機構を中心として大学発の研究成果を医療の分野に応用し、医療イノベーションを世に提供することを大きな目的としています。この度 Merck & Co., Inc., Kenilworth N.J., U.S.A.社と創薬共同研究における戦略的共同研究契約を結ぶことにより、未解決な問題が山積する医療分野のチャレンジに対して効果的な取り組みができるようになったことは私たちにとって大変喜ばしいことです。本契約締結下で進められる共同研究の数々が確実に成果を出し、未だに多くの疾患に苦しむ世界の患者さんに新しい治療オプションを提供できることを期待します。」

MSD 株式会社社長のトニー・アルバレズは次のように述べています。「当社の研究開発戦略に、世界の研究者とアンメットメディカルニーズに応える革新的新薬の開発を進めることができます。MSD には、日本の研究者と共に研究を行ってきた長い歴史があり、今回、東京大学とも戦略的パートナーシップ契約を締結できたことを嬉しく思います」

(注1)東京大学トランスレーショナル・リサーチ・イニシアティブ(TR機構):東京大学総長総括室の下に平成19年に設立された。東京大学の医療関連のトランスレーショナル・リサーチ全般にわたり実用化への橋渡しを推進する業務を行っている。TR機構の組織や活動、さらにはリサーチマッピングシステムについての詳細は、以下のURLをご参照ください。

<http://plaza.umin.ac.jp/tri-u-tokyo/>

(注2)Research Mapping System:リサーチマッピングシステムには、東京大学の生命科学関連研究の研究者と研究内容が登録・データベース化されています。研究者プロフィールおよび研究内容ごとのプロフィールがシステム上で表示されるだけでなく、個々の研究が任意の二つの属性で作られるマトリックスに表示されます。これにより目的とする属性の組み合わせに合致する研究を容易に拾い上げる事が可能です。属性とは、疾患領域、作用標的分子、研究ステージ、パテント状況等を指します。

以上

MSD について

MSD は Merck & Co., Inc., Kenilworth, N.J., U.S.A.が各国(米国とカナダ以外)で事業を行う際に使用している名称です。MSD の詳細については、[www.msd.co.jp](http://www.msd.co.jp) をご参照ください。